



RI会長 ステファニー・アーチック

2024-2025年



Rotary District 2640 Japan

創立50周年 ROTARY CLUB OF KAINAN EAST 海南東ロータリークラブ

会長 田岡 郁敏 幹事 楠部 均 SAA 前田 誠吏

第 2193 回例会

2024 年 9 月 9 日(月)

海南商工会議所4F 19:00~
お誕生日、結婚記念日のお祝い

1.開会点鐘

- 2.ロータリーソング 「我らの生業」
3.ゲスト紹介 株式会社マルトミケアハート
代表取締役 富田 博文 様

4.出席報告

会員総数 40 名 出席者数 25 名
出席義務規定適用免除会員 2 名
出席率 60.53% 前回修正出席率 60.53%

5.会長スピーチ

皆さんこんにちは。本日はお客様に株式会社マルトミレンタの代表取締役の富田博文社長にお越しいただいております。富田様は実は以前角谷さんの紹介で一度お目にかかったことがあります。私の診療所が 2 階にあり、高齢の患者さんや足元の不自由な患者さんが階段を上がるのが大変との声が大きくなってきたことで、昇降できる車椅子を購入させていただきたいということで診療所に来ていただきました。



階段が狭く車椅子の転回移動が困難ということで、階段昇降機はどうかということになり設計までしていただいたのですが最後の最後でやはり営業用は階段昇降機が作動中でも非常時に人が通るスペースが必要との事で許可が下りずに断念がありました。その節は大変お手数をおかけしました。現在は 1 階のロッカールームだった部屋にユニットを置いて診療室を増やすということで対応しています。本日は NPO 法人「エルトゥールルが世界を救う」理事長の肩書もお持ちの富田様に串本で起きたトルコのエルトゥールル号遭難事件について後ほど卓話していただきます。富田様よろしくお願ひいたします。50 周年記念事業の紹介を兼ねたマイキアップが始ま

っています。

9月4日は御坊東ロータリークラブ、5日は有田ロータリークラブと海南西ロータリークラブと現在 3 クラブの訪問が終わっています。私も 2 カ所行かせていただきましたが、例会の進め方や卓話、にこにこなど、それぞれに歴史の違う個性あふれるもので大変参考になり楽しませてもらっています。今回の 50 周年をきっかけに最近、少なかったマイキアップを再認識することができたことは一つの大きな成果ではないかと思います。これからマイキアップされる皆さんも、是非楽しんで交流の輪を広げていきましょう。今年度は少し遠いですがカナダのカルガリーにてロータリーの世界大会が開催されます。期間は6月の21日から25日となっております。昨年の世界大会はシンガポールで開催されうちからも 6 名が参加していただきました。ここでも新しくフィリピンマニラのクラブと交流を持つことができました。有田ロータリークラブにマイキアップしたときに世界大会の報告がビデオつきで行われていました。やはり大変楽しそうでありました。皆さん何とか時間を作っていただき参加していただければと思います。

6.幹事報告

- マイキアップ
9月4日(水) 御坊東 RC 楠部 均 君 田中 淳 君
9月5日(木) 海南西 RC 田岡 郁敏 君 上野山 雅也 君
9月5日(木) 有田 RC 田岡 郁敏 君 楠部 均 君
○9月ロータリーレート
1\$ = 145円

9月は「基本的教育と識字率向上月間」です



四つのテスト おまけはこれにてらしてから

- ①真実かどうか ③好意と友情を深められるか
- ②みんなに公平か ④みんなのためになるかどうか



事務所 〒642-0002

海南省日方 1294 (海南商工会議所 4F)
TEL:073-483-0801 FAX:073-483-2266

7. ゲスト卓話

NPO法人エルトゥールルが世界を救う

理事長 富田 博文 様

私が和歌山県人としてとても恥ずかしいと心から思い、悔しいと感じたことがきっかけは、恥ずかしながら、私自身もこの法人設立の1年前までは和歌山県串本町でのトルコ軍艦エルトゥールル号難破遭難事件については詳しく存じ上げておりませんでした。本や資料を調べる中で、トルコ・日本の両国の「結ばれた強い絆」や「真心」の存在を知るにつれ、弊法人の意義を痛切に感じ、設立に加わりました。

2012年4月に弊NPO法人が設立し、エルトゥールル号の物語を映画化するための寄付活動を開始したところ、815名の会員の皆様から心温まるご寄付と運営費用を頂きました。寄付金は、田中光敏監督のクリエイターズユニオンへ1000万円、そして、運営費用はパンフレットや会員の皆様へ定期的に発送する資料、Tシャツ他の郵送費に全額を役立てていただきました。

難破遭難されたトルコ人を住民総出で救出134年前の日本人が示した「人道」の精神…映画になった日ト友好の「原点」「日本とトルコの距離は遠いが、心は近い。トルコ人のほとんどは日本を尊敬しており、特別な愛情を持っている」

トルコではエルトゥールル号遭難事故は教科書に掲載されるほど有名な話で、政府や各団体の関係者からは映画の公開を機に両国の関係がより深まる事を期待する声が相次いだ。



両国結ぶ“絆”的原点

明治20年(1887年)トルコ皇帝アブドュルハミト2世は明治天皇より勲章を賜り、それに対して日本に答礼使節を派遣することを命じ、この使節団に軍艦エルトゥールル号が選ばれた。艦には特別に選抜された56人の将校を含め609名が乗員していた。遠洋航海で経験を積むことが目的とされた。1889年7月にイスタンブルを出航し、11ヶ月後の1890年6月7日横浜港に到着した。

(オスマン海軍少将一行は、明治天皇に謁見。使節団一行は東京に3ヶ月滞在、その間官民を挙げての歓迎を受け、明治23年9月15日、横浜港を出港、帰國の途につきました。日本は、9月が台風の季節であり、またエルトゥールル号が建造後26年を経た木造船であることから、出発前に修理を行うよう勧めましたが、オスマン少将は帰途が遅れないようにと、予定通り

同日出港しました。翌16日に串本町の樺野崎沖で台風に遭遇し、波浪と強風で舵が利かなくなつて岩礁に衝突、爆発を伴つて沈没した。

救出劇が絆の原点に

衝突したのは「船甲羅(ふなごうら)」と呼ばれる岩礁群。紀伊半島の南端に位置する串本町の大島の中でも、昔から海の難所として恐れられていた場所だった。この事故により乗組員587人が亡くなりましたが、地元住民らが総出で不眠不休の救出活動を展開した結果、69人が救助された。住民らは非常食用の米などを持ち出して炊き出しを行い、自分の服を脱いで救助者に着せて温めたという。また自身の身体で暖めました。「衣服といつても(大きいトルコ人と日本人では)体格がかなり異なり、袖の長さが合わないなど滑稽な状況だったようです。また、茶碗(ちやわん)でご飯を出しても箸が使えないため、おにぎりにしたら食べてもらえたという話もあります」。

一命をとりとめた乗組員らは、同年10月5日に明治天皇の命により、軍艦の「比叡」と「金剛」に分乗し、翌年1月2日にトルコ・イスタンブルに帰還した。2隻の軍艦はトルコ国民に感謝されながら迎えられたという。1890年10月~1891年5月には、和歌山県串本沖に座礁したトルコ軍艦エルトゥールル号の生存者を送還する為、「金剛(初代)」と共に遠洋航海し、コンスタンチノープルを訪問している。

当時、秋山真之はその護衛艦 比叡に練習生として乗船(のち 14年後、日露戦争勃発。日本海海戦出の立役者)映画坂の上の雲でも放映。

「海難1890」では、エルトゥールル号遭難事故で懸命の救助を行った紀伊大島の住民と、イラン・イラク戦争で救援機を出したトルコ政府の双方にスポットを当て、言葉や文化の違いを超えた人間愛が描かれている。すべての人に対する『真心』がこの映画の魅力です。



8. 閉会点鐘

次回例会

第2194回 2024年10月7(月)

海南商工会議所 4F 19:00~

お誕生日、結婚記念日のお祝い



ニコニコ・BOX

角谷 太基 君 富田様、本日は卓話有難うござります。よろしくお願いします。

田岡 郁敏 君

楠部 均 君

前田 誠吏 君

〃

〃